



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年7月14日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

「雪辱果たしたい」 檜崎智亜選手の思い

14日(日)＝1、3面

今週の「迫る」はパリ五輪に出場するクライミングの檜崎智亜選手＝写真＝を取り上げます。

そのすばしっこい動きから「忍者」と称され、世界トップクラスの実力者ですが、メダルが有力視された2021年東京五輪ではまさかの総合4位。メダルへのプレッシャー、周囲の期待の大きさをま

ともに受け、本番では脚が震えてしまったそうです。ですが直後に、同じクライマーの野口啓代さんと結婚。長女が生まれ、生活だけでなく自身の考え、メンタルの持ち方も一変しました。

妻は国際大会の手続きも手伝ってくれるなど、献身的にサポートをしてくれます。幼い娘の保育

園の送迎をしてパパ業にも一生懸命。娘の存在も大きな力になっています。クライミングはしばしばルール変更がされ、安定した成績を残すのが難しいといわれています。間もなくパリ五輪。檜崎さんの「二人三脚」ならぬ「三人四脚」の挑戦を迫ります。



迫る

そこが聞きたい「能登地震の断層と被害」

14日(日)＝くらしナビ面

能登半島地震による死者は約300人に上り、21世紀に入って東日本大震災に次ぐ地震災害となっています。その震源域は事前に作られた「断層モデル」によってある程度の精度で予測できていま

した。せっかくのモデルを防災に生かすことはできなかったのでしょうか。作成に携わった佐藤比呂志・東京大名誉教授＝写真＝が「じくじたる思い」を明かしました。



特集ワイド キャプテン翼の未来

18日(木)＝夕刊3面

世界に誇る日本マンガは多いですが、最も影響力があった作品は、どれでしょう。ドラゴンボール？ ドラえもん？ いや少年に限れば、これではないでしょうか。そう、キャ

プテン翼です。「子供の頃にアニメで見てましたって、フランス代表のエムバベ選手に言われましたね」。産みの親の漫画家、高橋陽一さん(63)＝写真＝が連載



南太平洋の18の島しょ国・地域の首脳らを3年に1度日本に招いて行われる国際会議「太平洋・島サミット」が16、18日、東京で開催されます。この地域は、日本と歴史

南太平洋で影響力増す中国

14日(日)＝総合面

的になつなかりが深く、世界的にも重要な海上交通路(シーレーン)です。一方、中国はこの地域を戦略上の要衝と捉え、影響力の拡大を狙う動きをみせています。



毎日新聞社は24日、「60歳からのノマド旅」と題したオンラインイベントを開催します。かつて世界中を旅した末、もうどこにも行きたくないという作家の関川夏央さんと、今も世界をまわる藤原章生記者がゲスト。旅に彩られた2人が人生の終わりにさしかかっていること、思っていること、「深夜特急」好きにはぴったりの話が聞けそうです。QRからぜひどうぞ。(石原聖)

